

平成28年6月9日に学校評議員会を開催し、以下のとおり各委員より意見がありましたので公表します。

## 1 学校評議員に意見を求めた事項

本校は地域の教育資源を活用し、学習の機会を多く設定しておりますが、安全・安心に校外学習を行うために、地域関係機関等との連携が重要と考えています。そこで下記の諮問に対して御助言をお願いいたしました。

「本校の校外学習を安全・安心に実施するに当たり、地域関係機関等との連携体制を強化するためにすべきことは何か。」

## 2 学校評議員の主な意見

(1) 先生方が、校内外で勉強会や研修会を行っているのは好ましい。

また、校内内部で共通理解を深めるのはよいことだ。

その上で事例研究を大切にしてほしい。各自が持っている情報を合わせることで実態が見えてくることがある。初動体制をうまく取るためには、児童生徒の情報共有や共通理解をすべきだと思う。

(2) 運動会はすごくよく、感動した。笑顔の子が多かった。買い物学習やマラソン、校外学習において何かあったときはお手伝いしていきたい。

(3) 高等部卒業後について、ネットワーク作りに励んでいる。学校ではB型と生活介護との振り分けはどうしているのか知りたい。本人の負担にならないようにした指導が必要だと感じる。

## 3 学校評議員の意見が学校運営に生かされた事例又は今後の取扱いの予定

(1) 校外学習に対して、医療的ケア対象のお子さんについて、看護師を入れた動きや緊急時の連絡体制について計画に入れているが、さらに想定を増やして対応していきたい。

(2) 居住地校学習・交流は共同学習であり、今後も、お互いに学び合える学習内容になるようにすり合わせをしていき、県の居住地校学校の推進をしていきたい。

(3) 年に数回、職員全員で情報を共有する場面を必要に応じて設けらることを検討していきたい。